

理工学書・専門書は…  
**Nikkan BookStore**  
 日刊工業 本 検索  
 日刊工業新聞社出版局のホームページ  
<http://pub.nikkan.co.jp/>

2021年(令和3年)  
**1月1日**  
 金曜日

# 日刊工業新聞

購読申し込みはフリーダイヤル  
 東京:0120-412346  
 大阪:0120-597117  
 名古屋:0120-462346  
 福岡:0120-817120  
 monoasu.jp

記事コピー・転載の問い合わせは  
**日刊工業新聞社著作権管理センター**  
 TEL:03-5644-7101  
<https://www.nikkan.co.jp>  
 日刊工業 検索

本社(TEL)03-5644-7000東京都中央区日本橋小網町14-1/大阪支社(TEL)06-6946-3321大阪府中央区北浜東2-16/名古屋支社(TEL)052-931-6151名古屋市中区東2-21-28/西部支社(TEL)092-271-5711福岡市博多区古門戸町1-1



川重は市場拡大に力を入れる(同社西神戸工場ショールーム=神戸市西区)

21年予測 受注4%増  
 20年の受注額は同4・7%増の8500億円。小笠原浩会長(安川電機社長)も「全体で回復している」と期待を示す。20年は19年に続き産業用ロボットにとって苦難の年だった。19年は米中貿易摩擦による設備投資の減速が影響を大きく受けた。ただ、ロボット各社

## 車・半導体 順調な回復

笑門来稿。産業用ロボットにとって2021年は回復・成長のための好材料がそろった。足元では自動車向けが回復基調にあるほか、半導体製造装置やIT関連を含めた一般産業機械向けが堅調を維持している。「V字」とはいかないまでも順調な回復が見込める。企業業績が加速する自動化需要をいかに取り込むかも重要なポイントになる。各社の取り組み一つひとつが混迷する世界の産業に灯をともすことになりそうだ。(川口拓洋)

# 産口ボ 飛躍の条件整う

野村証券 エクイティ・リサーチ部長 齋藤 克史氏  
 21年の機械受注は回復に向かうと予想される。ただし、前半は新型コロナウイルス感染症が再拡大し、回復が緩やかなる可能性がある。一方、半導体投資が伸び、中国の需要は20年後半からの勢いが21年前半は続く。工作機械・軸受関連の機械需要は顧客業種で自動車向け、製造ではロボットや、産業機械によってけん引される。需要成長率の点ではロボットが循環



私はこう見る

## 自動化需要 取り込みカギ



ロボの適用分野は広がる(ファナックサーボモータ工場=山梨県忍野村)

E V工場受注ケースも  
 しなから成長し、工作機械は需要が循環している。この需要は18年前半にピークアウトし、同年中央以降に大きく減少した。北米、欧州は19年10-12月期に落ち着きが見られたが、20年4-5月にはロックダウン(都市封鎖)の影響で大きく減少し、その後は10月まで少しずつ回復してきた。日本の需要は9月まで停滞していたが、10月に改善の兆しが表れた。21年は各地域とも需要の減少局面を乗り越え、重要な局面で抑えられていた更

三菱UFJモルガン・スタンレー証券 アナリスト 佐々木翼氏  
 もともと小さくなった機械が増える中、人手不足も顕在化しており自動化しなければならぬニーズが増えている。ただ、過去3年間は米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響により投資は抑えられていた。新型コロナウイルスを経て、自動化しなければならぬことは現実的な課題であり、より一層明白になった。21年はワクチンの普及も進み、世界経済が正



潜在ニーズ掘り起こしを  
 常化する過程にあつて設備投資が回復しやすい環境になるだろう。実際、中国や米国、欧州をはじめとした主要な国でも自動車やエレクトロニクス、一般産業などの業種でも回復傾向にある。古い機械が増え自動化しなければならぬニーズが潜在的に強くなっていく中で、機械を手がけるメーカー各社は3年間という長い自動化ソリューションを生み出してきた。ファナックでは人

業績は20年夏、秋頃から順調に回復している。製造業をはじめ各産業では、人件費高騰、賃金上昇も「19年からしていない。一方で21年や人手不足などの構造的問題だけでなく、20年下半から新型コロナウイルスにより継続してないで総評する。ロボットの成長性を期待する声は多い。成長明白な、目の前に迫る課題」になっている。この需要にロボット業界が対応しており、小へ影響や不安は消え大だ。

継続的生産支える  
 適用分野拡大 増産に備え  
 空気機器で高いシェアを誇るSMCは、シマロクのエニバーサルロボット(UR)や安川電機、オムロン、三菱電機の協働ロボット向けチャックやロボットハンドを相次いで市場投入している。高田芳樹副社長は「産業用ロボット向けにも展開しているが、ロボットメーカーが保全や構築の人材がいなくても自動化できる協働ロボットを強化している。この流れについていく」と強調する。中核部品の一つである減速機を提供する住友重機械工業の下村真司社長は「自動化、省力化ニーズの高まりでロボットや無人搬送車(AGV)向け小型減速機の需要は高まっている。生産体制は整っている。いつでも対応できる」との認識を語る。

安川電機も受注が回復(同社中間事業所=福岡県中間市)  
 21年も新型コロナウイルスの影響は日々刻々と変わり、予断を許さない状況は続く。ただ、底堅い自動化需要に対応するためロボット関連各社が動きだしていることが事実。業界の動きが活発化する1年になりそうだ。

につぼん 構築  
 川崎重工業も市場拡大に力を入れており、PCR検査を複数の産業用ロボットで高速化・自動化する「PCR検査ロボットシステム」などを開発中。21年初頭にも提供を開始する。

## 水処理の課題に挑戦。

いままでない技術。いままでない挑戦。

# なんとかする力

株式会社流機 エンジニアリング

〒108-0073 東京都港区三田3-4-2  
 TEL 03-3452-7400  
 mail : hp\_info@ryuki.com  
 URL : http://www.ryuki.com

高濃度水処理装置「ECOクリーン」  
 脱水乾燥装置「脱乾」  
 オゾンマイクロバブル「0ミクロンIII世」

水処理のことなら

## 謹賀新年

本年も宜しく  
 お願い申し上げます

### ものづくりの継承

技術は人から人へと受け継がれ、私の受け継いだ技術で息子にキラリとひかる一芸に秀でた人材に育成したい。創業九十六年の歴史を重ねた技術を未来へ…。

5軸加工用治具 (任意複合加工)  
 X(左右)、Y(前後)、Z(上下)にA、Bの回転2軸を加えたことで、加工物を取り付けるだけで360度任意の位置での多面加工を実現しました。

東亜精機工業株式会社  
 創業96年の精密測定機器・治具専門メーカー

本社: 工場 / 大阪市東成区中道1-5-8 TEL: 06-6972-2431(代) FAX: 06-6976-6960  
 工場: 大阪市城東区東中道2-13-28 TEL: 06-6969-2431 FAX: 06-6969-0612

www.toaseiki.co.jp  
 mail: info@toaseiki.co.jp